

# 日本留学同窓会ネパール(Japanese Universities Alumni Association, Nepal JUAAN)の活動

日本留学同窓会ネパール (JUAAN) 設立メンバー／元会長

一橋大学元留学生 ハレンドラ バルア

Harendra B. BARUA

日本留学同窓会ネパール (以下、JUAAN) は日本の大学や様々な教育機関を卒業したネパール人留学生の同窓会です。JUAAN の目的は、日本の大学や教育機関で得た知識や技術をネパールの発展に役立てる事にあります。元ネパール人留学生が団結することでこの目的を達成するために、下記のような活動を通して常に努力しています。特に、日本がこの144年間で発展途上国から先進国へと発展した過程や、日本が直面してきた問題、例えば、エネルギー問題、環境問題、最近においては人口減少問題、低経済成長率など、日本滞在経験があり知日家である JUAAN メンバーがこのような日本の問題から学び、ネパールの発展に生かす事は大きな使命です。

また、ネパール人学生と日本国民との交流の歴史は、1902年にネパール政府が8人の学生に高等教育を受けさせるため日本に送り出してから100年以上に及びます。日本学生支援機構(以下、JASSO)によると、102カ国に302以上の日本留学生の同窓会があり、最初の設立はタイの1951年でした。ネパールでは1973年に設立され、これは、南アジアで一番古い歴史があります。ネパール JUAAN の初代会長は、ネパール初の電気技師で、1916年に当時の東京工業高等学校(現在の東京工業大学)に留学した Mr. P. S. Malla です。

研究によると、歴史の中でネパールの文化遺産は日本の伝統文化と深いつながりがあるとされています。1902年に留学した8人の学生は日本の柿、栗、藤を持ち帰り、はじめてネパールに植えました。それらは今でもネパールに根づいています。ネパールで崇拜される多くの神々は日本でも崇拜されています。このような背景からも JUAAN のメンバーはそれぞれの研究分野を超えて、ネパール・日本両国民同士の理解と友好関係を深めるという使命を果たすべく努力しています。

## 定例活動

### 月例勉強会：

勉強会は4カ月に一回開かれます。この勉強会においては、参加者の専門知識や実務経験についてアイデアや意見を自由に交換します。また、JUAAN の活動についての会議を行います。また、日本とネパール、両国の学者による日本についての講演も行われます。

### その他の活動：

講演会、シンポジウム、大使館との共催による日本文化紹介事業(生け花教室など)、

日本留学フェア、文部科学省国費留学生の為のオリエンテーションプログラム、日本映画上映会、年次総会及び年次会報の出版も行われています。年次総会は毎年3月に実施されます。

#### トラスト委員会：

JUAAN は堺ライオンズクラブと今西記念フェロースHIP基金を運用しています。この基金の目的は、日本研究のプロモーションであり、ネパール人研究者が執筆した日本またはネパール-日本関係における優れた論文に対し賞金が授与されます。また、トリブバン大学中央図書館に日本研究コーナーを設置しました。

#### 南アジア元日本留学同窓会連盟、SAFJUAA の設立：

2005年3月、JUAAN が発起人となって、南アジアの国々で活躍する同窓会同士の連携を図り、日本との友好関係を一層深める目的で、南アジア元日本留学同窓会連盟 (South Asia Federation of Japanese Universities Alumni Association、以下、SAFJUAA) が設立されました。毎年議長国において会議が行われています。会議は2007年バングラデシュ、2008年インド、2009年ネパール、2011年パキスタンで開かれました。次回はスリランカで開催される予定です。

2012年3月現在、JUAAN の会員は250名です。現在、2000名以上のネパール人学生が日本の様々な大学や教育機関で勉強しています。日本政府の文部科学省奨学金を受けるネパール人留学生は、例年、大使館推薦で6名程度、大学推薦で10名から30名であり、民間の奨学金や私費で留学する学生も年々増加傾向にあります。

#### SAFJUAA の活動：

##### 日本語弁論大会

南アジア日本語弁論大会は2010年から開催されています。第1回目の大会は、インドで開かれ、第2回の大会は2012年3月24日にネパールで行われました。参加国はバングラデシュ、インド、ネパール、パキスタン、スリランカで、シニアの部、ジュニアの部で各国2名ずつ参加しました。本大会は、JUAAN 及び SAFJUAA 主催、国際交流基金共催、在ネパール日本国大使館後援、ネパール日本語教師協会及び在カトマンズの企業の協力にて行われました。

南アジア元日本留学同窓会連盟のメンバーの各国においても日本語弁論大会が実施されており、多くの日本語学校がそれに参加しています。それぞれの国内大会でシニアの部、ジュニアの部における各優勝者は、SAFJUAA の南アジア日本語弁論大会に参加することができます。

この日本語弁論大会は現地の人々に日本語を普及する目的と共に、南アジア及び日本人と日本文化を理解し、友好関係を深めることを目的とします。

JUAAN はネパールでの日本の教育および日本の文化を広く伝えるため全力を尽くしています。それに並行して、日本から高度な教育を受けてきた者を奨励しネパール・日本両国民同士の理解と友好関係を深めるという使命を果たすべく努力しています。

## 在日ネパール人留学生

2011年度のJASSO「外国人留学生在籍状況調査結果」([http://www.jasso.go.jp/statistics/intl\\_student/data11.html](http://www.jasso.go.jp/statistics/intl_student/data11.html))によると、日本には2,016人(2011年5月1日現在)のネパール人留学生がいます。この数は日本に留学している外国人留学生総数138,075人の約1.5%程度に過ぎません。日本に留学しているネパール人留学生の内、約40%は日本政府文部科学省からの奨学金を受けている国費留学生であり、そのほかの学生は、民間の団体や非政府組織から奨学金を受けていたり、またはアルバイトをしながら自費で学費および生活費をまかなっている学生もいます。日本の日本語学校で日本語を勉強している留学生のほとんどは私費留学生です。日本語学校を卒業して日本の大学や専門学校へ進学する学生の中には、様々な民間の団体から奨学金を受けている留学生もいます。日本で日本語を勉強する留学生の数も毎年増えています。

毎年在ネパール日本国大使館で国費留学生の募集・選考を行っており、数百人以上の応募者の中から5名から8名程度の優秀な学生が国費留学生として選ばれています。その他日本の大学の教授からの推薦で年間約20名の留学生が文部科学省の国費留学生プログラムのもとに修士・博士課程の履修のため日本に渡ります。

多くのネパール人留学生は専門学校に席を置いていて、JASSO 留学生調査によるとその数は1,175人(2011年5月1日現在)で、ネパール人留学生数全体の半数以上を占めています。

在日ネパール人留学生協会(NESAJ)の調査によると、ネパール人留学生の約40%は工学、15%物理化学、11%文学系を専攻しています。その中でも、土木工学、環境工学、地質学とIT関係の分野の人気は非常に高く、さらに、この調査から40%は博士課程、32%修士課程、12%学士レベルと残りは他のレベルで勉強していることが判明しました。

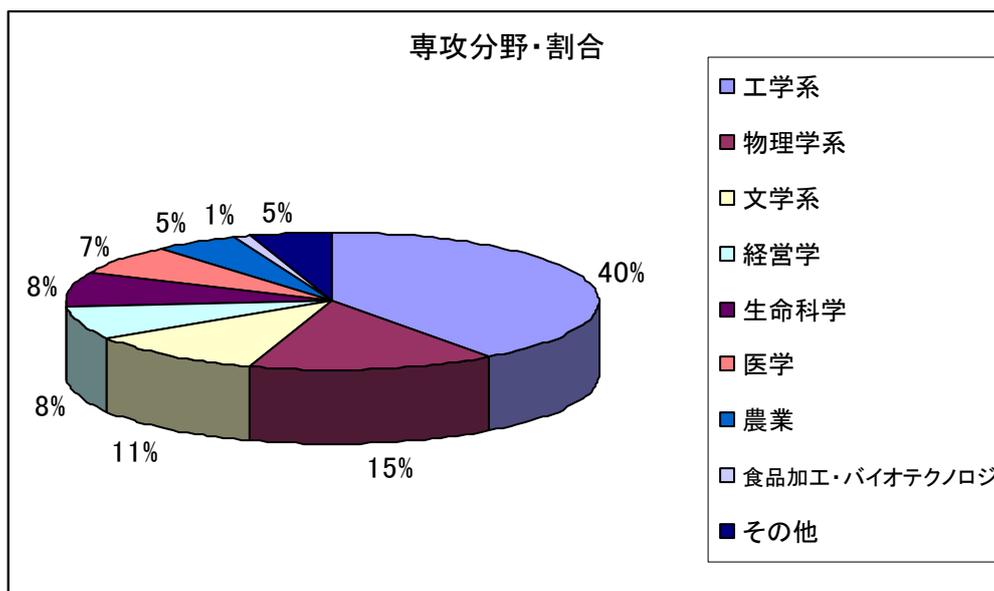


図1：専攻分野とネパール人留学生数の割合

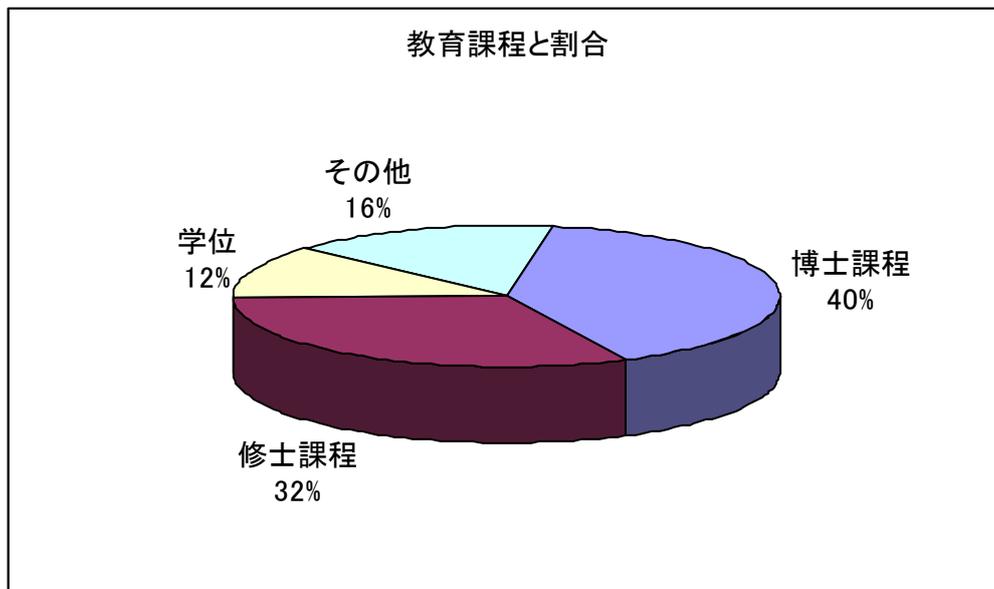


図 2 : 日本で履修教育課程と学生割合

### ネパールにおける高等教育

ネパールの高等教育の歴史はあまり古くはありません。1918年にネパール国初のトリチャンドラ・カレッジが設立されました。当時このカレッジはインドの大学の傘下であり、インドの大学のカリキュラムを導入していました。

1958年に初めて、国立のトリブバン大学が設立されました。現在トリブバン大学は全国各地に60のキャンパスを持っています。その他に826のキャンパスがトリブバン大学に付属しています。ネパールで高等教育を受ける学生数の約96%はこの大学や大学付属キャンパスで勉強しています。他の4%は他の大学で勉強しています。現在トリブバン大学のほか6の大学が存在しています。トリブバン大学に席を入れている学生総数は70,000人にも達しており、南アジアで最大規模の大学となっています。

### ネパールの教育制度

ネパールの学校は10年制であり10年生の終わった段階で全国統一の高等学校卒業認定試験（School Leaving Certificate、SLC）を合格しカレッジに進学する旧制度と10年生を終わってから+2へ移行し後期高等教育を受ける新制度の2つの教育制度が並行して存在しています。S.L.C.試験は教育省のSLCボードが管理していますが、+2（高校レベル）の試験は教育省の高等教育ボード（HSEB）が管理します。ネパール政府は将来的に新制度の12年制の高等教育制度の完全導入を望んでいます。

SLCや+2の次に学士レベルは3年間、修士は2年間のコース終了後博士課程となっています。工学部では学位のコースは4年間、医学部では5年半です。

## 高等学校卒業後

ネパールでの高等教育が終わってから多くの学生はインド、アメリカ、イギリス、オーストラリア、日本など海外へ留学し、その数は毎年増える傾向にあります。

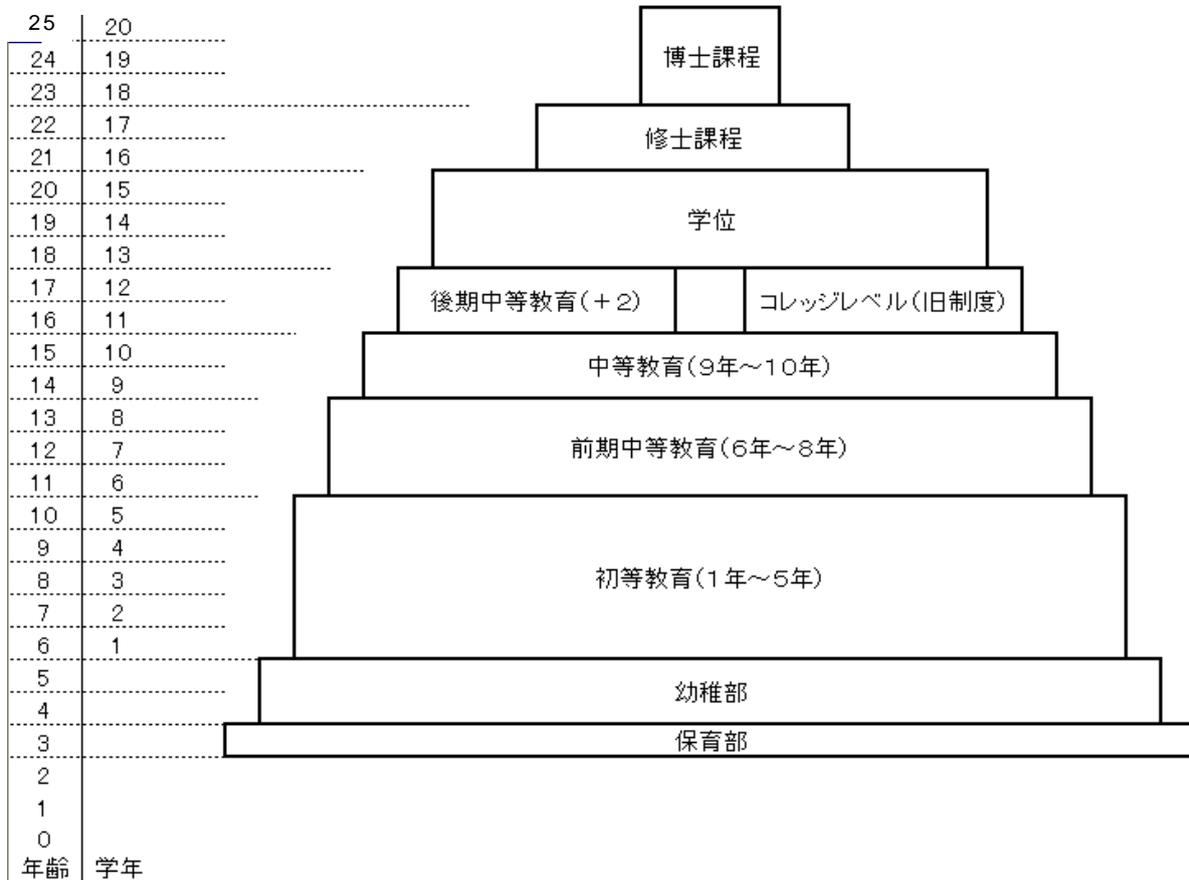


図3：ネパールの教育制度

## ネパールの教育機関に在籍する外国人留学生の状況

ネパール国トリブバン大学は、ネパールで必要な人材を育成するための諸専門分野においての高等教育の提供のほかに、ネパールの文化や言葉の習得を目的にした外国人向けにネパール語、ネパール文化のコースを設けています。また、トリブバン大学や付属のキャンパスで医学、工学などを専攻する外国人留学生には、日本、オーストラリア、バングラデシュ、ブータン、中国、ドイツ、パキスタン、バルバドス、モルディブ、ニュージーランド、スペイン、スリランカ、韓国、アメリカからの学生が在籍しています。

| 国名／専攻    | MBBS (※1) |    |    | MD/MS (※2) |   |    | ネパール語 |    |    | その他 |    |    | 合計  |
|----------|-----------|----|----|------------|---|----|-------|----|----|-----|----|----|-----|
|          | 男         | 女  | 計  | 男          | 女 | 計  | 男     | 女  | 計  | 男   | 女  | 計  |     |
| オーストラリア  |           |    |    |            |   |    | 1     | 1  | 2  |     |    |    | 2   |
| アフリカ     |           |    |    |            |   |    |       |    |    |     | 1  | 1  | 1   |
| アフガニスタン  |           |    |    |            |   |    |       |    |    |     | 1  | 1  | 1   |
| バングラデシュ  |           | 1  | 1  | 3          |   | 3  |       |    |    |     | 1  | 1  | 5   |
| ブータン     |           | 2  | 2  |            | 1 | 1  |       |    |    |     | 2  | 2  | 5   |
| 中国       |           |    |    |            |   |    | 2     | 3  | 5  | 1   | 1  | 2  | 7   |
| カナダ      |           |    |    |            |   |    |       |    |    |     | 2  | 2  | 2   |
| コスタリカ    |           |    |    |            |   |    |       |    |    | 1   |    | 1  | 1   |
| ドイツ      |           |    |    |            |   |    |       |    |    |     | 2  | 2  | 2   |
| 日本       |           |    |    |            |   |    | 2     | 1  | 3  | 2   | 2  | 4  | 7   |
| イスラエル    |           |    |    |            |   |    |       | 1  | 1  |     |    |    | 1   |
| 韓国       |           |    |    |            |   |    | 17    | 17 | 34 |     | 2  | 2  | 36  |
| モルディブ    | 5         | 13 | 18 | 2          | 3 | 5  |       | 1  | 1  | 2   |    | 2  | 26  |
| マレーシア    |           |    |    |            |   |    |       | 1  | 1  |     |    |    | 1   |
| ニュージーランド |           | 1  | 1  |            |   |    |       |    |    |     |    |    | 1   |
| パキスタン    | 1         | 3  | 4  |            |   |    |       |    |    | 1   |    | 1  | 5   |
| フィリピン    |           |    |    |            |   |    |       | 1  | 1  |     |    |    | 1   |
| バルバドス    | 1         | 1  | 2  |            |   |    |       |    |    |     |    |    | 2   |
| スリランカ    | 4         | 5  | 9  | 1          |   | 1  |       |    |    | 6   | 1  | 7  | 17  |
| スペイン     |           |    |    |            |   |    |       |    |    |     | 1  | 1  | 1   |
| アメリカ     | 2         |    | 2  |            |   |    | 2     | 1  | 3  | 4   | 3  | 7  | 12  |
| 合計       | 13        | 26 | 39 | 6          | 4 | 10 | 24    | 26 | 50 | 17  | 20 | 37 | 136 |

※1 Bachelor of Medicine & Bachelor of Surgery

※2 Doctor of Medicine & Doctor of Surgery

図4：ネパールトリブバン大学在籍外国人留学生  
(トリブバン大学国際語学キャンパスで在籍中の学生数除く)

参考資料：

- T.U. Bulletin Special 2011-12
- JASSO ホームページ
- JUAAN Bulletin
- NESAJ Bulletin
- H.B. Barua 著「明治のネパール人留学生」